

一 和語・漢語・外来語を理解しよう！

教科書 p.63,64 > ワーク p.34

1 教科書 63 ～ 64 ページを読みながら、次の () に当てはまる言葉を入れよう。

和語……もともと (1) () で使われていた言葉。 (2) () 言葉ともいう。

(3) () で書かれたり、漢字の (4) () で表されたりする。

(5) () で用いられることが多い。

漢語……漢字の (6) () が使われる言葉。漢語は、(7) () で作られて

日本に入ってきた語と、日本で作られた語がある。抽象的な意味の語、社会制度や専門的知識を表す語など、(8) () や (9) () などによく使われる。

外来語…漢語以外で、(10) () から日本語に取り入れられた語。普通

(11) () で書き表されるが、「てんぷら」「合羽かほ」など、平仮名や漢字で書かれるものもある。

「ジーパン」など、日本で作られたいわゆる (12) () もある。

混種語… (13) () (14) () (15) () が組み合わさってできた語。

2 次の言葉が、和語なら A、漢語なら B、外来語なら C、混種語なら D を書こう。

① 暮らし () ② 生活 () ③ ライフ ()

④ 道路 () ⑤ ロード () ⑥ 道 ()

⑦ テイスト () ⑧ 味覚 () ⑨ 味わい ()

⑩ 紙コップ () ⑪ 私 () ⑫ 登山口 ()

3 次の外来語について、①意味を調べよう。②この外来語を使って短文を作ろう。③この外来語を和語や漢語を用いてわかりやすく言い換えてみよう。

・アイデンティティ

①

②

③

※ワーク p.34 の問題に取り組んでみよう！

一 和語・漢語・外来語を理解しよう！ 教科書 p.63,64 > ワーク p.34

1 教科書 63 ～ 64 ページを読みながら、次の () に当てはまる言葉を入れよう。

和語……もともと (① 日本) で使われていた言葉。 (② 大和) 言葉ともいう。

(③ 平仮名) で書かれたり、漢字の (④ 訓読み) で表されたりする。

(⑤ 日常生活) で用いられることが多い。

漢語……漢字の (⑥ 音読み) が使われる言葉。漢語は、(⑦ 中国) で作られて日本

に入ってきた語と、日本で作られた語がある。抽象的な意味の語、社会制度や専門

的知識を表す語など、(⑧ ニュース) や (⑨ 新聞) などでもよく使われる。

外来語…漢語以外で、(⑩ 外国) から日本語に取り入れられた語。普通(⑪ 片仮名)

で書き表されるが、「てんぷら」「合羽かっぱ」など、平仮名や漢字で書かれるものもある。

「ジーパン」など、日本で作られたいわゆる (⑫ 和製英語) もある。

混種語… (⑬ 和語) (⑭ 漢語) (⑮ 外来語) が組み合わさってできた語。

2 次の言葉が、和語なら A、漢語なら B、外来語なら C、混種語なら D を書こう。

① 暮らし (A) ② 生活 (B) ③ ライフ (C)

④ 道路 (B) ⑤ ロード (C) ⑥ 道 (A)

⑦ テイスト (C) ⑧ 味覚 (B) ⑨ 味わい (A)

⑩ 紙コップ (D) ⑪ 私 (A) ⑫ 登山口 (D)

3 次の外来語について、①意味を調べよう。②この外来語を使って短文を作ろう。③この外来語を和語や漢語を用いてわかりやすく言い換えてみよう。

・アイデンティティ

① 1 自己が環境や時間の変化にかかわらず、連続する同一のものであること。主体性。
2 本人にまちがいないこと。また、身分証明。

② 青年期のアイデンティティ確立のためには、自問自答が何よりも大切だ。

③ 自分らしさ。独自性。一致。身元。

※ワーク p.34 の問題に取り組んでみよう！

二 慣用句・ことわざ・故事成語を理解しよう！

教科書 p.127,128〉マーク p.76,77〉

○慣用句

二つ以上の言葉が結び付いて、もともとの言葉の意味とは別の意味を表すものを、**慣用句**という。

問① 次の慣用句の意味を下から選び、線で結ぼう。

- | | | | | |
|---|-------|---|---|-------------------|
| a | 目を細める | ・ | ア | 努力がむだになること。 |
| b | 馬が合う | ・ | イ | 気が合う。 |
| c | 水の泡 | ・ | ウ | やる気がなくなりぼんやりする。 |
| d | 気が抜ける | ・ | エ | 他が気になり、注意が向かない様子。 |
| e | うり二つ | ・ | オ | そっくりである様子。 |
| f | うわの空 | ・ | カ | うれしくてほほ笑む。 |

問② ①の慣用句を分類し、次の表に a～f の記号で書こう。

体や心に関するのある言葉を使った慣用句	
自然に関するのある言葉を使った慣用句	
動植物に関するのある言葉を使った慣用句	

○ことわざ

古くから世間で言い慣わされてきた、生活上の知恵や教訓が込められた言葉を **ことわざ** といふ。

問 次のことわざと同じ意味を表すことわざを下から選び、線で結ぼう。

- | | | | | |
|---|----------|---|---|------------------------------|
| a | ぬかにくぎ | ・ | ア | 弘法 <small>こうぼう</small> も筆の誤り |
| b | 泣き面に蜂 | ・ | イ | 弱り目にたたり目 |
| c | 猿も木から落ちる | ・ | ウ | のれんに腕押し |

○故事成語

故事成語は、() に由来し、() な事実や言い伝えを基に作られた言葉である。

問 次の故事成語の意味を調べよう。

呉越同舟	
五里霧中	

※ワーク p.34の問題に取り組んでみよう！

二 慣用句・ことわざ・故事成語を理解しよう！

教科書 p.127,128> マーク p.76,77<

○慣用句

二つ以上の言葉が結び付いて、もともとの言葉の意味とは別の意味を表すものを、**慣用句**という。

問① 次の慣用句の意味を下から選び、線で結ぼう。

- | | |
|---------|---------------------|
| a 目を細める | ア 努力がむだになること。 |
| b 馬が合う | イ 気が合う。 |
| c 水の泡 | ウ やる気がなくなりぼんやりする。 |
| d 気が抜ける | エ 他が気になり、注意が向かない様子。 |
| e うり二つ | オ そっくりである様子。 |
| f うわの空 | カ うれしくてほほ笑む。 |
-

問② ①の慣用句を分類し、次の表に a~f の記号で書こう。

体や心に関するある言葉を使った慣用句	a・d
自然に関するある言葉を使った慣用句	c・f
動植物に関するある言葉を使った慣用句	b・e

○ことわざ

古くから世間で言い慣わされてきた、生活上の知恵や教訓が込められた言葉を **ことわざ** といふ。

問 次のことわざと同じ意味を表すことわざを下から選び、線で結ぼう。

- | | |
|------------|--------------------------------|
| a ぬかにくぎ | ア 弘法 <small>こうぼう</small> も筆の誤り |
| b 泣き面に蜂 | イ 弱り目にたたり目 |
| c 猿も木から落ちる | ウ のれんに腕押し |
-

○故事成語

故事成語は、(**中国の古典**) に由来し、(**歴史的**) な事実や言い伝えを基に作られた言葉である。

問 次の故事成語の意味を調べよう。

呉越同舟	仲の悪い者どうしが何かの事情で一つの所にいること。
五里霧中	四方八方に霧がたちこめ、まったく方向がわからないような状態。

※ワーク p.34の問題に取り組んでみよう！